

1-4 入学者に関する受入方針及び入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関する事【担当：事務局学務課】

(1) 入学者に関する受入方針

■建学の精神

- 一、進取の精神と自由闊達な気風
- 一、医学・医療の攻究と地域医療への貢献

■理念

最高レベルの医科大学を目指します
人間性豊かな医療人の育成に努めます
道民の皆様に対する医療サービスの向上に邁進します
国際的・先端的な研究を進めます

■アドミッション・ポリシー

<医学部>

医学部は、北海道民の健康と医療を守り、地域や国際医療に貢献できる医師及び国際的・先端的の研究を通じて世界に貢献できる研究医を育てます。そのため、次のような資質を有する学生を求めます。

1. 命を尊ぶ心を持ち、病める人を救う情熱のある人
2. 他者を理解しようという意欲と奉仕の精神、倫理観を持っている人
3. 社会生活で守らなければならない法律や道徳に従い、良識ある行動ができる人
4. 医学・医療を学ぶにふさわしいコミュニケーション能力、協調性及び想像力を持っている人
5. 地域社会への興味・関心を持ち、北海道に貢献する意志を持つ人
6. 国際的視野で考え行動し、科学的探究心と創造力を持って生涯にわたって学修に取り組む能力を持っている人

入学までに身につけておいてほしいこと

1. 高等学校で学ぶ諸教科に関する高い基礎学力
 - 1) 医学を学習するための基礎学力：生命科学としての医学を学習するにあたって、生物、化学、物理及び数学の基礎学力は必須です。さらに、医療と医学研究の場では、人との交流が基盤となります。それを支えるコミュニケーション能力を発揮するために、論理的に思考し、相手に伝えることのできる正確な日本語と国際的視野で考え行動するための英語の学力が重要です。
 - 2) 人類の文化や自然、社会に関する幅広い基礎知識：医学研究と医療の実践には、人文社会科学の視点から健康・疾病を理解することが必要です。そのために、自然科学のほか、人文社会科学など幅広い領域に関する基礎知識が不可欠です。
2. 自ら課題を探求し、問題を解決する学習習慣
医師には生涯にわたる自己研鑽が求められます。自ら課題を抽出し、問題点・疑問点を解決していく積極的な学習姿勢が必要です。
3. 自主的、協調的な態度と行動
チーム医療なしには医療は実践できません。医師は、医療チームの一員として、他者と連携・協調して行動することが求められます。
4. 健康な生活を送るための基本的生活習慣
人々の健康を守り、病に立ち向かう医師となるための精神力と体力が必要です。まず、自分の健康に心がけ、基本的生活習慣を身につけていることが不可欠です。

<保健医療学部>

札幌医科大学保健医療学部は、札幌医科大学の建学の精神、理念に基づき、看護師・理学療法士・作業療法士に求められる実践能力やそれぞれの学問分野の発展に寄与する研究能力の基礎・基本を育むことを目的に、ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）、カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施方針）に基づく教育を行っています。このような教育を受けるための条件として、以下に掲げる能力・資質を具えた学生を受け入れます。

求める学生像

【知識・技能】

1. 高等学校の教育課程で学ぶ知識・技能を幅広く、かつ高いレベルで有している
- #### 【思考力・判断力・表現力】
2. 社会の様々な課題について、知識や情報をもとに筋道を立てて論理的に思考し、自分の言葉で表現できる
 3. 知的探求心をもって広く社会に目を向け、柔軟な発想で物ごとをとらえることができる
- #### 【主体性をもって多様な人々と協同して学ぶ態度】
4. 良心と社会規範にしたがって良識ある行動をとることができる
 5. 人々との交流を大切にし、常に温かな配慮をもって他者と接することができる
 6. 自らの成長のために粘り強く物ごとに取り組むことができる

入学前に身につけておくことが期待されるもの

1. 高等学校で学ぶ諸教科に関する高い基礎学力
 - 1) 人類の文化や自然、社会に関する幅広い基礎学力
保健・医療・福祉は人間を対象に社会の中で営まれる実践です。そのために、文化や自然、社会に関する偏りのない基礎知識が不可欠です。
 - 2) 人々との交流を深め、論理的に思考し表現するための基礎学力
保健・医療・福祉の実践は人々との交流を基盤とします。また、物ごとを多面的に捉えて論理的に思考し、相手に伝えることのできる日本語の能力、国際的視野で考え行動するための外国語力が重要です。
2. 他者との連携・協働を必要とする課題に対し、誠実に取り組む姿勢
保健・医療・福祉の実践はチームで取り組みます。他者と連携・協働して何かに取り組んだ経験は専門的実践を学ぶ上で力となります。
3. 自らの疑問を解決し、知識を深めるための学習習慣
専門職には生涯にわたる自己研鑽が求められます。疑問を解決するために、また、知識を広げ深めるために、自ら進んで調べ学ぶ習慣を身につけておく必要があります。
4. 健康な生活を送るための基本的生活習慣
人々の健康と生活を守るためには、自分の健康に心がけ、しっかりとした基本的生活習慣を身につけていることが不可欠です。

入学者選抜のあり方

【一般選抜】

1. 共通テストでは5教科（国語・数学・理科・社会・外国語）7～8科目を課し、基礎学力を確認します。
2. 個人および集団面接試験によって、将来の看護師・理学療法士・作業療法士としての意欲や適性、本学部の教育を受ける上で必要となるコミュニケーション力や協調性等の能力・資質を評価します。調査書は面接試験の参考とします。

【学校推薦型選抜】

1. 小論文試験では、読解力や観察力、論理的思考力、表現力を評価します。
2. 個人面接試験によって、将来の看護師・理学療法士・作業療法士としての意欲と適性、地域医療への貢献意志、本学部の教育を受ける上で必要となるコミュニケーション力等の能力・資質を評価します。調査書、志願理由書は面接試験の参考とします。
3. 共通テストでは3科目（外国語、ほか2科目）を課し、基礎学力を確認します。

<大学院医学研究科>

医学研究科・博士課程では、将来、医学研究者となるべき人材として、次のような資質を持った人を求めます。

1. 知的好奇心、科学的探究心を持ち、創造性に富む人
2. 高度な知識・技術の修得に励み、さらに応用・発展への意欲を持つ人
3. 高い倫理観を備え、医学の分野で活躍する意思を持つ人
4. 国際的な視野を持ち、社会や科学の問題にあたる気概のある人

医学研究科・修士課程では、将来、高度の医学専門性を必要とする職業を担う人材として、次のような資質を持った人を求めます。

1. 医学以外の専門分野を含む多様な知識的背景や価値観を持つ人
2. 医科学の専門知識を体系的、集中的に学びとる意欲を持つ人
3. 医科学に関連する研究・教育・実務分野における貢献を志す人

<大学院保健医療学研究科>

保健医療学研究科では、看護学・理学療法学・作業療法学の発展と、保健・医療・福祉の質の向上に寄与する高度な専門的知識、実践能力、研究能力を備えた実践者、研究者の育成を目指しています。そのため、以下のような人材を求めます。

<博士課程前期>

1. 保健・医療・福祉の諸課題に深い関心を持ち、その発展と問題解決に関わることを自己の目標としている人
2. 看護学・理学療法学・作業療法学に関する専門的な知識と技術を備え、批判的・論理的思考力を有している人
3. 多様化・複雑化する人々のニーズに応えるため、専門分野における卓越した実践能力を獲得したいと願っている人
4. 豊かな人間性と倫理性を有し、地域の保健・医療福祉に貢献する意思のある人
5. 研究成果を発信することにより、保健・医療・福祉の充実と発展に貢献する意思のある人

<博士課程後期>

1. 保健・医療・福祉の諸課題に広く深い関心を持ち、その発展と問題解決に関わることを自己の目標としている人
2. 看護学・理学療法学・作業療法学に関する専門的な学識、批判的・論理的思考力と科学的探究心を備え、新たな知の創造に意欲を有する人
3. 豊かな人間性と倫理性を有し、国際的な視座で人々の健康に貢献する意思のある人
4. 研究成果を国内外に広く発信することにより、保健・医療・福祉の発展に貢献するとともに、科学の発展に寄与したいと願う人

<専攻科>

札幌医科大学専攻科は、北海道の保健・医療・福祉に貢献する、高度な知識と優れた技術を備えた創造性に富む人間性豊かな保健師・助産師を育成することを目的としています。そのため次に掲げるポリシーにより学生を求めます。

■求める学生像

1. 北海道の保健・医療・福祉に深い興味・関心を有し、保健師もしくは助産師として地域に貢献したいと考えている人
2. 公衆衛生看護学、もしくは助産学に関わる知識・技術の基礎・基本を高いレベルで修得している人
3. 看護上の諸課題の解決に必要な実践力を有している人
4. 多様な価値を尊重し、高い倫理観をもって行動する姿勢を有している人
5. 看護職としての役割と責任を認識し、専門職としてのキャリアデザインを描いている人

■入学者選抜のねらい

○公衆衛生看護学専攻

看護学一般に関する客観問題と記述問題からなる学科試験を課し、公衆衛生看護学を学ぶ上で必要とされる知識を確認するとともに、公衆衛生看護実践への意欲や課題意識、将来の保健師としての適性を評価します。

○助産学専攻

母性看護学、小児看護学及び関連分野に関する客観問題と記述問題からなる学科試験によって助産学を学ぶ上で必要とされる知識を確認するとともに、助産実践への意欲や課題意識、将来の助産師としての適性を評価します。

(2) 入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数など
 () の数は女性で内数

区 分		受験者数	合格者数	入学者数	転編入学	在学者数	中退率	《編入学定員》 収容定員	卒業者数		
									計	うち就職者数	うち進学者数
医学部	医学科	363	110	110 (44)	0	680 (220)	0.0%	660 《0》	100 (35)	0 (0)	0 (0)
保健医療学部	看護学科	98	51	50 (48)	0	202 (191)	0.0%	200 《0》	51 (46)	45 (41)	6 (5)
	理学療法学科	63	21	20 (15)	0	81 (41)	2.4%	80 《0》	19 (9)	16 (7)	3 (2)
	作業療法学科	34	20	20 (18)	0	81 (61)	0.0%	80 《0》	19 (13)	16 (12)	0 (0)
医学研究科	修士課程	9	6	6 (5)	0	11 (9)	0.0%	20 《0》	4 (2)	4 (2)	0 (0)
	博士課程	37	31	33 (10)	0	186 (41)	0.0%	200 《0》	32 (5)	32 (5)	0 (0)
保健医療学研究科	看護学専攻 博士課程前期	10	10	10 (4)	0	18 (12)	0.0%	24 《0》	5 (5)	5 (5)	0 (0)
	看護学専攻 博士課程後期	1	0	0 (0)	0	2 (2)	0.0%	6 《0》	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	理学療法学・作業療法学専攻 博士課程前期	14	14	14 (4)	0	22 (5)	0.0%	24 《0》	8 (2)	6 (1)	2 (1)
	理学療法学・作業療法学専攻 博士課程後期	4	4	4 (1)	0	16 (4)	0.0%	18 《0》	1 (0)	1 (0)	0 (0)
専攻科	公衆衛生看護学専攻	22	13	12 (10)	0	13 (10)	0.0%	15 《0》	13 (11)	13 (11)	0 (0)
	助産学専攻	32	16	16 (16)	0	16 (16)	0.0%	20 《0》	17 (17)	17 (17)	0 (0)

※令和3年5月1日現在

※受験者数、合格者数及び入学者数は令和3年度で、合格者数には追加合格者を含む

※中退率及び卒業者数は、令和2年度実績

※中退率には除籍者、満期退学者も含む

(3) その他進学及び就職等の状況に関すること

医学部卒業生は、2年間の臨床研修が義務づけられており、就職者は0名としたところ。

(4) 国家試験の合格率の状況

■医学部医学科～医師国家試験

区 分	令和3年	令和2年	平成31年	平成30年	平成29年	平成28年
全 体	91.4 %	92.1 %	89.0 %	90.1 %	88.7 %	91.5 %
札幌医科大学	94.5 %	91.7 %	95.4 %	93.3 %	91.7 %	96.2 %
国立大学	92.5 %	92.8 %	90.2 %	91.2 %	90.7 %	91.7 %
公立大学	93.3 %	95.4 %	92.1 %	93.3 %	91.1 %	95.4 %
私立大学	91.1 %	93.3 %	88.9 %	90.2 %	86.5 %	91.6 %

■保健医療学部看護学科

・看護師国家試験

区 分	令和3年	令和2年	平成31年	平成30年	平成29年	平成28年
全 体	90.4 %	89.2 %	89.3 %	91.0 %	88.5 %	89.4 %
札幌医科大学	100.0 %	100.0 %	100.0 %	100.0 %	100.0 %	100.0 %
国立大学	— %	— %	— %	— %	— %	— %
公立大学	— %	— %	— %	— %	— %	— %
私立大学	— %	— %	— %	— %	— %	— %

・保健師国家試験

区 分	令和3年	令和2年	平成31年	平成30年	平成29年	平成28年
全 体	94.3 %	91.5 %	81.8 %	81.4 %	90.8 %	89.8 %
札幌医科大学	100.0 %	100.0 %	100.0 %	90.9 %	100.0 %	100.0 %
国立大学	— %	— %	— %	— %	— %	— %
公立大学	— %	— %	— %	— %	— %	— %
私立大学	— %	— %	— %	— %	— %	— %

■保健医療学部理学療法学科～理学療法士国家試験

区 分	令和3年	令和2年	平成31年	平成30年	平成29年	平成28年
全 体	79.0 %	86.4 %	85.8 %	81.4 %	90.3 %	74.1 %
札幌医科大学	100.0 %	100.0 %	100.0 %	100.0 %	100.0 %	100.0 %
国立大学	— %	— %	— %	— %	— %	— %
公立大学	— %	— %	— %	— %	— %	— %
私立大学	— %	— %	— %	— %	— %	— %

■保健医療学部作業療法学科～作業療法士国家試験

区 分	令和3年	令和2年	平成31年	平成30年	平成29年	平成28年
全 体	81.3 %	87.3 %	71.3 %	76.2 %	83.7 %	87.6 %
札幌医科大学	90.5 %	90.5 %	100.0 %	95.0 %	100.0 %	94.1 %
国立大学	— %	— %	— %	— %	— %	— %
公立大学	— %	— %	— %	— %	— %	— %
私立大学	— %	— %	— %	— %	— %	— %

■専攻科助産学専攻～助産師国家試験

区 分	令和3年	令和2年	平成31年	平成30年	平成29年	平成28年
全 体	99.6 %	99.5 %	99.6 %	98.7 %	93.0 %	99.8 %
札幌医科大学	100.0 %	100.0 %	100.0 %	100.0 %	100.0 %	100.0 %
国立大学	— %	— %	— %	— %	— %	— %
公立大学	— %	— %	— %	— %	— %	— %
私立大学	— %	— %	— %	— %	— %	— %